

石川北

千枚田保全にCD一役

門前のバンド、売り上げ活用



完成したCDを紹介するノンポリシーのメンバー。輪島市の道の駅「千枚田ポケットパーク」

輪島市門前町在住のメンバーで構成するアマチュアバンド「ノンポリシー」は26日、作詞作曲した「当地ソング」あぜのきらめきをCD完成発表会を、同市の道の駅「千枚田ポケット

パーク」で開いた。市内7カ所で開催し、売り上げの一部を千枚田の保全などに充てる。

メンバーは昨年8月、同市の白米千枚田を電車で彩るイベント「あぜのきらめき」をテーマに曲の制作を始め、今月11日にCDが仕上がった。優しい曲調で、棚田に響く波の音や

夕暮れとともに電飾がともり出す様子、イベントを支えるボランティア「ほたるびと」への感謝の気持ちなどを歌詞に込めた。

CDは、千枚田ポケットパークなどで1枚500円で販売しており、市外へも拡販していく。ボーカルの橋本英隆さんらメンバーは「今後は總持寺祖院など門前町に焦点を当てた曲を作ってみたい」と今後の活動に意欲を見せた。

来月7日に試食会 B級グルメ選手権前に

金沢市の企画会社「ヨシタデザインプランニング」は2月7日、珠洲市飯田わくわく広場で、同22日に開かれる「奥能登B級グルメ選手権(北國新聞社後援)」に出品する「珠洲塩焼きそば」の試食会を開く。

同社と飯田高生のチームは昨年の選手権で、珠洲塩焼きそばを出品して優勝し

中能登「どぶろく特区」に

特産化へ免許取得促進

神事用製造の歴史生かし



新酒の味を確かめる行事「どぶろく検定」。中能登町は特区として、どぶろく特産化を進める。昨年11月、同町二宮の天日陰比咩神社

中能登町は、農家が自前のコメで濁り酒を製造できる「どぶろく特区」の認定を国から受けた。県内では白山市鶴来地区、羽咋市に続いて3カ所目で、酒の製造免許を取得する基準が緩和される。町は、藩政期から町内3神社で神事用のどぶろくが造られてきた歴史を町の特産として生かし、農家に免許取得や酒米の作付け増を促して、町ぐるみで特産化を目指す。

県内3カ所目

同町では、二宮の天日陰比咩神社と能登部上の能登部神社、能登部下の能登比咩神社の3カ所、新嘗祭などの神事で使うどぶろくを造っている。県神社庁によると、全国の神社のうち、どぶろくを造っているのは約30カ所、県内では同町の3神社のみとなっている

町は、どぶろくとゆかりが深い地域性を、土産物が少ない中能登の特産品作りに生かそうと特区申請し、昨年11月に認可された。町は2月14日、道の駅「織姫の里なかの」とで、町内で栽培された酒米で作った甘酒を振る舞い、特区認定をアピールする。今後、天日陰比咩神社のどぶろくに使う酒米を栽培している「MOA自然農法七鹿普及会」のメンバーに製造免許の取得を呼び掛け、町内の農業者に加え飲食業者にも酒米の作付けを促す。

特区認定により、酒税法の製造免許取得要件のうち、年間製造数量6千以上上の最低基準が免除される。自家栽培したコメの使

七尾市一本杉町の菓子店「花月」は、七尾出身の画聖長谷川等伯のゆるキャラ「どっはくん」が持っている筆をかたどった焼き菓子「どっはくんざぶれ」を創作した写真。2月1日から販売する。



七尾の菓子店 等伯にちなんだサブレ ゆるキャラ持つ筆かたどる

「春蘭の里」学ぶツア

来月地域活性化のヒントに

能登町の農家民宿群「学ぶ」スタディーツアー「春蘭の里」の取り組みが来月20日から2泊3日の

町内全6小中学校

「牛乳ラーメン」給食に初登場

内灘町商工会が地元特産の牛乳を生かした「当地グルメ」牛乳ラーメンが26日、町内の全6小中学校の給食に初めて提供され、児童生徒が舌鼓を打った。



牛乳ラーメンなど特別献立を味わう生徒—内灘中

町企画課の担当者は「民泊施設や飲食店での提供など要件を満たせば、少量でも製造できるようになった。

能登高生が渋抜き

3年生研究発表会

能登高の生徒研究発表会は26日、同校で開かれ、地域創造科の3年生42人が、課題研究の成果を発表した。生徒は木に突っ込まれた柿の渋抜きをする「樹上脱

渋」の実験結果などを示した。

農業、水産、商業、福祉の4コースの生徒が10テーマで成果を紹介した。生徒は、小型魚を使った煮干しを作り、だしに適する魚を示したほか、習得した手話を披露した。